

県民参加型予算(提案・共創型)

テーマ (4)スマート農業による「匠の技術」の伝承	
担当課	農政部園芸畜産課
テーマの概要	農業の規模拡大に伴う省力化や「匠の技術」の継承を目指すため、AI 技術等を活用した『スマート農業モデル事業』の提案を募集します。
解決したい課題の概要	<p>【背景・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県農業は、生産者の高齢化や担い手不足等の課題解決のため、大規模経営体等への集約化に取り組んでいます。 ・規模拡大に伴い、作業の省力化や生産性向上への取組が必要であり、本県農業の生産基盤を維持していくためにも、新たなアイデアや機械等の実証などこれまで行ってこなかった取組を進めていくことが求められています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果樹等の栽培管理作業では、熟練の技術と作業スピードが求められ、新規就農者などの栽培初心者にとって難しい作業が沢山あります。AI 等を活用し、感覚的な栽培技術を「見える化」することで技術習得を簡易にする必要があります。 ・また、県の試験研究機関では、栽培技術の研究実績・知見はありますが、画像解析などの分野の実績が無いため、県単独では AI 等を活用したスマート技術の実証や推進が困難です。 <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「栽培技術・データ」を持つ県、「匠の技術^{※1}」を持つ生産者、「先端技術(AI、ビックデータ、センシング、スマートグラス等)」を持つ民間企業等の共創により、本県のスマート農業の拡大・推進を目指します。 <p>※1:熟練農業者の経験や勘に基づく高度な栽培技術</p>
県のこれまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・リモコン式畦畔草刈り機の社会実装 https://www.agries-nagano.jp/smart_info/11560.html ・レタスの自動収穫機の研究開発(令和3年度の主な研究内容:野菜部) https://www.pref.nagano.lg.jp/yasaikaki/documents/r3_kakubusyokai.html
希望する提案の例(解決策イメージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・先端技術を持つ企業からの、スマート農業技術の活用と実証実験の提案 ・生産者が活用しやすい新たなスマート農業のアイデア(手法、仕組み等)の提案
県が提供するリソース	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術に係る専門的知見 ・実証ほ場・匠の生産者^{※2}等の調整 <p>※2:長年栽培に携わり、匠の技術により毎年高品質な青果物を生産する者</p>
県から提供できるメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・連携による実証実験機会の提供 ・PR 機会の提供

	<ul style="list-style-type: none"> ・県研究機関や普及指導員等との連携 ・農業関係機関への幅広い情報提供
想定する相手方	<ul style="list-style-type: none"> ・先端技術を有する企業、大学等
期待する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の園芸作物の品質向上や安定生産が図られる。 ・技術習得の容易化により、新規参入の増加、栽培の効率化による一層の経営規模の拡大などが見込まれる。
参考資料	なし